

2025年

横浜市立二つ橋高等特別支援学校



4

学校だより

4月30日発行

「対話」 = 「わかりあえないことから」

校長 古川 晶大

4月1日に着任いたしました校長の古川晶大と申します。どうぞよろしくお願いたします。
私は3月まで横浜市教育委員会事務局特別支援教育課で4年間勤務していました。4年ぶりの学校現場となりますが、毎日、元気に挨拶をしてくれたり、温かい言葉をかけてくれたりする生徒の皆さんとの日々のかかわりを通して、二つ橋高等特別支援学校に着任することができた喜びを感じています。

さて、令和7年度は、3年生46名、2年生43名に48名の新生を迎え、全生徒数137名でスタートしました。また、本校は昨年度、教育課程や学校のきまりなどを大幅に見直す作業を行い、今年度から「あらたな学び」が始まりました。4月14日の全体保護者会でもご説明しましたが、その改革を前に進めていくために、そして、「働く」、「自立」、「自己実現」という学校教育目標の実現のために必要な視点は、「生徒のキャリア発達を促す」、「対話を通した学び合い」、「生徒の思いや願いを大切にすること」であると考えています。

その中でも私が今年度、特に重視したいのが「対話を通した学び合い」です。このことは、着任時や始業式などで、教員や生徒たちに伝え、生徒同士、教員と生徒、教員同士でそれぞれ「対話」を重ねていってほしいと話しました。

劇作家、演出家の平田オリザさんの著書『わかりあえないことから』には、「対話」について、このように書かれています。

「心からわかりあえることを前提とし、最終目標としてコミュニケーションというものを考えるのか、

『いやいや人間はわかりあえない。でもわかりあえない人間同士がどうにかして共有できる部分を見つけて、それを広げていくことならできるかもしれない』と考えるのか。」

～平田オリザ『わかりあえないことから』（講談社現代新書）P208～

私は、「対話」をするときには、人間は「わかりあえない」ことを前提に（上記の後者のように）考えることが大切だと思います。「対話」とは、そのことをベースに、それぞれの思いや考えを伝え合うことで、相手と自分の違いや共通点に気づき、それらをすり合わせて納得できる答え（納得解）を一緒に見つけていくことだと考えます。

本校では全教職員が一丸となって、生徒たちのコミュニケーション能力の向上、よりよい人間関係作りにつながる「対話」を通した「豊かな学び」を提供していきたいと考えております。そのためには、保護者、地域・関係機関の皆様との「対話」も重視してまいります。

今年度1年間、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いたします。

1 学年

入学して1か月が経ちました。4月はクラスや学年の親睦を深めるために、地域散策に出かけたり、学年レクの時間を設けて王様ドッジボールを行ったりしました。

日々の授業や職業など、本当に慌ただしい毎日でしたが、少しずつ学校生活にも慣れ、友だちと楽しそうに話をする姿も見られるようになってきました。

職業の授業では、2・3年生の先輩方と一緒に、先輩方の姿から、挨拶や報告・連絡・相談の大切さなどを学んでいます。すべてが初めてで、覚えることもたくさんありますが、今がとても大切な時間です。

困ったことやわからないことがあったら、一人で抱え込まず、すぐに相談し、少しでも解決できるようにすることが気持ちの安定にもつながります。そして、周囲の人たちと相談し、自分でどうしたらよいか考え、行動に移していくことが成長につながります。学校生活が始まったばかりですが、体調を崩さないように、心身ともに休む時間を作り、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

2 学年

進級し、新しい1年がスタートしました。クラスの顔ぶれも新しくなり、友達同士のかかわりにも広がりが見られます。“自分も、相手も大切に”しながら、過ごしてほしいです。また、現在2学年では修学旅行に向け、様々な事前学習を行っています。グループで活動することも多く、話し合いを進め、活動の計画を立てたり、飛行機搭乗や一人部屋でのホテル滞在など、普段なかなか体験しないことにチャレンジするための学習をしたりしています。修学旅行から帰ってきた時には、また一つ、成長した姿が見られると思います。

職業の時間では縦割りの学習が始まりました。3年生の先輩の姿から学び、1年生の後輩には自分たちが学んできたことを伝えています。時間割も変わり、新しいことの連続ですが、日々頑張る姿はとても頼もしく感じます。疲れが出てきやすい時期です。体調を整え、心身ともに過ごせるよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

3 学年

3年生の生徒たちにとっては、今まで過ごした2年間と比べ、「新しいこと」の多い1年が始まりました。期待をもちつつも心配や不安を感じながらのスタートだったかもしれませんが、生徒たちはその「新しいこと」を日々の中で柔軟に受け止めていっているように思えます。特に「縦割り」での職業の授業では1、2年生の生徒たちとの協働をめざし、自分たちの経験したことを総動員して対応したり、目の前で起こっている問題をどう解決したらよいか向き合ったり、と精一杯の力を尽くしています。このことこそが縦割り授業の醍醐味であり、「後輩のために」と取り組んでいることは全て自身にかえてくることでしょう。学校生活最後の1年。生徒たちが幸せになるために、「自分が何を考え、どう行動するか。」を選び、決め、その結果に責任をもてるようになることをめざして、職員一同支援していきたいと思っております。引き続き、ご協力よろしくお願いたします。



Topics

学校公式Instagramを開設しました！

本校では、このたび学校公式Instagram（インスタグラム）を開設いたしました。

日々の学校生活の様子や行事、授業の様子などを写真や動画で発信し、学校の魅力をより多くの方々にお伝えしてまいります。ぜひフォローしてご覧ください！

🔍アカウント名：

futatsubashi.h.s.s

📄検索方法：アカウント名もしくはQRコードで検索いただけます。



保健室より

校庭の芝生もきれいな新緑となり、花々が美しく咲く季節となりました。感染症の流行等もなく、今年度を穏やかにスタートすることができました。

今年度よりスタートした縦割り活動も、2・3年生が1年生に丁寧に教える姿は、とても頼もしく感じます。しかし、どの学年もまだまだ緊張している様子も見られ、疲れもたまっているかもしれません。

そんなときこそ、生活のリズムを整えましょう。つつい見てしまうテレビやスマホ、長引いてしまうゲームなど、自分で時間を決めるようにし、しっかり睡眠時間を確保し、体を休めましょう。

暑くなってくる日もあるので、水分をしっかりと摂り、熱中症にも気をつけていきましょう。



セクシュアル・ハラスメント相談窓口

横浜市では、各学校にセクシュアル・ハラスメントに関する担当を置くこととなっています。今年度の校内相談窓口は【副校長】菅井昭宏【養護教諭】森田麻季・谷内優花です。どうぞお気軽にご相談ください。

☎ **(045)-391-2131**

なお、教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。
TEL：(045) 671-3726 月～金 9：00～17：00（年末年始を除く平日）
本校ホームページでも相談窓口について掲載しておりますので、併せてご参照ください。

「横浜市立二つ橋高等特別支援学校Webサイト」
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/futatsubashikoto/>

